

お客様各位



農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記

1. 使用制限 2025年12月10日付 (2件)

- (1) ナレート水和剤 登録第17960号
作物名「ねぎ」を削除

【変更される注意事項】

はくさい・たまねぎ・レタス・非結球レタス・キャベツ・ブロッコリー・だいこんの軟腐病、はくさいのべと病、レタス・非結球レタスの斑点細菌病及び腐敗病並びににんにくの春腐病に使用する場合、発病後の散布では効果が劣る場合があるので、発病前あるいは発病初期に予防的に散布すること。

- (2) オキシラン水和剤 登録第21247号
作物名「ねぎ」を削除

【変更される注意事項】

はくさいの軟腐病に使用する場合、発病後の散布では十分な効果が得られないので予防的に散布すること。

2. 適用拡大 2025年12月10日付 (3件)

(1) ズボルドー

登録第24041号

① 適用病害虫名の追加：りんご/褐斑病（500倍）、ブロッコリー/黒すす病（500倍）

② 使用時期の設定及び変更

- ・大麦、採種用小麦、かんきつ、りんご、ぶどう、おうとう、びわ、いちじく、かんしょ、ばれいしょ、やまのいも、だいす、あずき、いんげんまめ、さやえんどう、実えんどう、そらまめ、未成熟そらまめ、すいか、トマト、ミニトマト、なす、だいこん、たまねぎ、にんにく、にら、にんじん、ごぼう、はくさい、キャベツ、野菜類（キャベツを除く）、レタス、非結球レタス、ブロッコリー、アスパラガス、にがうり、かぼちゃ、ズッキーニ、くわい、さんしょう（果実）、さんしょう（葉）、こんにゃく、てんさい、なす（常温煙霧）、きゅうり（常温煙霧）／— ⇒発病前～発病初期
- ・りんどう、つつじ類／— ⇒発病初期
- ・すもも、ナタリ／休眠期⇒発病前～発病初期但し休眠期
- ・もも／収穫後～開花前まで⇒発病前～発病初期但し収穫後～開花前まで
- ・うめ／葉芽発芽前まで⇒発病前～発病初期但し硬核期まで
- ・カイワルツ／休眠期～叢生期(新梢長約10cmまで)⇒発病前～発病初期但し休眠期～叢生期(新梢長約10cmまで)
- ・茶／摘採7日前まで⇒発病前～発病初期但し摘採7日前まで

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 又は使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	銅を含む 農薬の総 使用回数
麦類	黒節病	種子重量の 1%	—	は種前		湿粉衣	
大麦	黒節病 赤色粒	500倍	60～150ℓ /10a	発病前～ 発病初期			
採種用小麦	黒節病						
稻	稻こうじ病	2000倍		出穗10日 前まで			
かんきつ	そうか病 黄斑病 かいよう病	400～500倍 600倍 500～ 1000倍	200～700ℓ /10a	発病前～ 発病初期	—	散布	—
りんご	すす点病 すす斑病 褐斑病	500倍					
すもも	黒斑病			発病前～ 発病初期 但し休眠期			

作物名	適用病害虫名	希釀倍数 又は使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	銅を含む 農薬の総 使用回数
もも	せん孔細菌病	500 倍		発病前～ 発病初期 但し収穫後～ 開花前まで			
ネクタリン				発病前～ 発病初期 但し休眠期			
ぶどう	べと病 さび病 褐斑病	500～800 倍		発病前～ 発病初期			
	つる割細菌病	800 倍					
とうとう	褐色せん孔病		200～700ℓ /10a	発病前～ 発病初期 但し硬核期まで			
うめ	かいよう病	500 倍		発病前～ 発病初期		散布	
びわ	がんしゅ病			発病前～ 発病初期			
いちじく	疫病	1000 倍		発病前～ 発病初期			
キウイフルーツ	花腐細菌病	500 倍		発病前～ 発病初期 但し休眠期～ 叢生期(新梢長 約 10cm まで)			
かんしょ	斑点病 基腐病		100～300ℓ /10a				
ばれいしょ	疫病	400 倍				無人航空機 による散布	
	軟腐病	16 倍	1.6～3.2ℓ /10a				
やまのいも	葉渋病 炭疽病	500 倍	100～300ℓ /10a	発病前～ 発病初期		散布	
		16 倍	3.2ℓ/10a			無人航空機 による散布	
だいす	紫斑病 斑点細菌病 葉焼病	500 倍	100～300ℓ /10a			散布	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 又は使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	銅を含む 農薬の総 使用回数
あずき	褐斑細菌病	500 倍	100~300ℓ /10a	発病前~ 発病初期	-	散布	-
いんげんまめ	かさ枯病						
さやえんどう 実えんどう	先端黄白化症	1000 倍					
そらまめ 未成熟そらまめ	赤色斑点病	500 倍					
すいか	疫病	500~800 倍					
トマト ミニトマト	疫病 輪紋病	400~600 倍					
	すすかび病	500 倍					
なす	軟腐病	16 倍	1.6~3.2ℓ /10a			無人航空機 による散布	-
だいこん	黒斑細菌病 白さび病		3.2ℓ/10a				
たまねぎ	白さび病	500 倍	100~300ℓ /10a			散布	-
にんにく	軟腐病	16 倍	1.6~3.2ℓ /10a			無人航空機 による散布	-
にら	春腐病 さび病	500 倍	100~300ℓ /10a			散布	-
	白斑葉枯病	16 倍	3.2ℓ/10a			無人航空機 による散布	
にんじん	株腐細菌病 白斑葉枯病	500 倍	100~300ℓ /10a			散布	-
ごぼう	軟腐病	16 倍	1.6~3.2ℓ /10a			無人航空機 による散布	-
	黒葉枯病		3.2ℓ/10a			散布	
	黒葉枯病	500~800 倍	100~300ℓ /10a			無人航空機 による散布	

作物名	適用病害虫名	希釗倍数 又は使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	銅を含む 農薬の総 使用回数		
はくさい	軟腐病	16 倍	1.6～3.2ℓ /10a	発病前～ 発病初期	-	無人航空機 による散布			
	黒斑細菌病、 黒腐病		3.2ℓ/10a						
キャベツ	軟腐病 黒腐病		1.6～3.2ℓ /10a						
	斑点細菌病 べと病 黒斑細菌病	500～ 1000 倍	100～300ℓ /10a						
野菜類 (キャベツを除く)	斑点細菌病 褐斑細菌病 黒腐病 べと病 黒斑細菌病		散布						
	軟腐病	500～ 1000 倍							
レタス 非結球レタス	軟腐病	16 倍	1.6～3.2ℓ /10a	発病前～ 発病初期	-	無人航空機 による散布			
	腐敗病	500～800 倍	100～300ℓ /10a						
ブロッコリー	花蕾腐敗病 黒すす病	500 倍	100～300ℓ /10a			散布			
	黒腐病	500～ 1000 倍							
	黒腐病	16 倍	1.6～3.2ℓ /10a						
アスパラガス	斑点病 茎枯病	500 倍	100～300ℓ /10a	発病前～ 発病初期	-	散布			
		16 倍	3.2ℓ/10a						
	茎枯病	8 倍	8ℓ/10a						
にがうり	うどんこ病	500 倍	100～300ℓ /10a			散布			

作物名	適用病害虫名	希釀倍数又は使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	銅を含む農薬の総使用回数
かぼちゃ	果実斑点細菌病 軟腐細菌病	16倍	3.2ℓ/10a	発病前～発病初期	無人航空機による散布	散布	-
		500倍	100～300ℓ/10a				
スッキーニ	軟腐細菌病						
くわい	ひぶくれ病						
さんしょう (果実)	さび病	1000倍	200～700ℓ/10a	発病前～発病初期	-	散布	-
			100～300ℓ/10a				
さんしょう (葉)							
こんにゃく	葉枯病 腐敗病	500～800倍					
てんさい	褐斑病	400倍					
茶	炭疽病			発病前～発病初期 但し摘採 7日前まで	-	散布	-
	赤焼病	500倍	200～400ℓ/10a				
	もち病 網もち病	400～500倍					
りんどう	葉枯病	500倍	100～300ℓ/10a	発病初期	-	散布	-
つつじ類	もち病						
樹木類	斑点症 (シュードーサーコスボラ菌)	800倍	100～700ℓ/10a				
	輪紋葉枯病	500倍					

作物名	適用場所	適用 病害虫名	使用量	使用 液量	使用 時期	本剤の使 用回数	使用 方法	銅を含む 農薬の総 使用回数
なす	温室、ガラス室、 ビニールハウス等 密閉できる 場所	すすかび病	294～ 588g/10a	10ℓ/10a	発病前～ 発病初期	—	常温 煙霧	—
きゅうり		べと病						

【追加および変更する注意事項】

- ・病害の発生状況に応じ適期に使用すること。
- ・りんごに使用する場合、次の事項に注意すること
 - 1) 薬害を生じるおそれがあるので必ず炭酸カルシウム水和剤を加用すること。ただし、収穫間際では果実に汚れを生じるので留意すること。
 - 2) 日焼けした幼果では果点の褐変などの薬害の症状を助長する可能性があるので注意すること。
- ・本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所関係機関の指導を受けることが望ましい。

(2) フジドーレフロアブル

登録第23002号

作物名の追加: 稲(稻こうじ病)、2000倍、出穂10日前まで

かんしょ(基腐病)、500倍、発病前～発病初期、散布8倍(1.6ℓ/10a)、10倍(2.0ℓ/10a)、

16倍(3.2ℓ/10a)/ 発病前～発病初期、無人航空機による散布

適用病害虫名の追加:りんご/炭疽病、輪紋病(500～1000倍)

プロッコリー/花蕾腐敗病、黒すす病(500倍)

希釈倍数の変更:りんご(すす点病、すす斑病)/500倍⇒500～1000倍

使用方法の追加:はくさい(軟腐病)/8倍(1.6ℓ/10a)、10倍(2.0ℓ/10a)、16倍(3.2ℓ/10a)/

無人航空機による散布

使用時期の設定及び変更:かんきつ、りんご、マンゴー、キウイフルーツ、ばれいしょ、さといも、やまのいも、

やまのいも(むかご)、かぶ、プロッコリー、キャベツ、はくさい、レタス、非結球レタス、

たまねぎ、だいこん、ごぼう、だいす、えだまめ、いんげんまめ、てんさい／

— ⇒ 発病前～発病初期

うめ／葉芽発芽前まで⇒発病前～発病初期但し葉芽発芽前まで

茶／摘採14日前まで⇒発病前～発病初期但し摘採14日前まで

【変更後】

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	銅を含む 農薬の総 使用回数
稻	稻こうじ病	2000 倍	60～150ℓ /10a	出穂 10 日前 まで			
かんきつ	かいよう病	500～1000 倍	200～700ℓ /10a	発病前～ 発病初期	-	散布	-
	そうか病	500 倍					
りんご	褐斑病 すす点病 すす斑病 炭疽病 輪紋病	500～1000 倍	200～700ℓ /10a	発病前～ 発病初期 但し葉芽発 芽前まで	-	散布	-
うめ	かいよう病	500 倍					
マンゴー	かいよう病	1000 倍	200～700ℓ /10a	発病前～ 発病初期	-	散布	-
キウイフルーツ		500～1000 倍					

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	銅を含む 農薬の総 使用回数				
ばれいしょ	軟腐病	500~800 倍	100~300ℓ /10a	発病前~ 発病初期	-	散布	-				
		8 倍	1.6ℓ/10a			無人航空機 による散布					
		10 倍	2.0ℓ/10a			散布					
		16 倍	3.2ℓ/10a			無人航空機 による散布					
	疫病	500 倍	100~300ℓ /10a		-	散布					
さといも						無人航空機 による散布					
やまのいも	葉渋病	8 倍	1.6ℓ/10a			散布					
		10 倍	2.0ℓ/10a			無人航空機 による散布					
やまのいも (むかご)		16 倍	3.2ℓ/10a			散布					
		500 倍	100~300ℓ /10a		-	無人航空機 による散布					
						散布					
かんしょ	基腐病	8 倍	1.6ℓ/10a			無人航空機 による散布					
		10 倍	2.0ℓ/10a			散布					
		16 倍	3.2ℓ/10a			無人航空機 による散布					
かぶ	黒斑細菌病	500 倍	100~300ℓ /10a	-	-	散布	-				
ブロッコリー	軟腐病 花蕾腐敗病 黒すす病 黒斑細菌病					無人航空機 による散布					
						散布					
						無人航空機 による散布					
						散布					
	黒斑細菌病					無人航空機 による散布					
キャベツ	黒腐病	500 倍	100~300ℓ /10a	-	-	散布	-				
		8 倍	1.6ℓ/10a			無人航空機 による散布					
		10 倍	2.0ℓ/10a			散布					
		16 倍	3.2ℓ/10a			無人航空機 による散布					
		500 倍	100~300ℓ /10a			散布					

作物名	適用 病害虫名	希釗倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	銅を含む 農薬の総 使用回数	
はくさい	軟腐病	500 倍	100~300ℓ /10a	発病前～ 発病初期	-	散布	-	
		8 倍	1.6ℓ/10a			無人航空機 による散布		
		10 倍	2.0ℓ/10a			散布		
		16 倍	3.2ℓ/10a			無人航空機 による散布		
レタス、 非結球レタス		500 倍	100~300ℓ /10a	発病前～ 発病初期	-	散布	-	
		8 倍	1.6ℓ/10a			無人航空機 による散布		
		10 倍	2.0ℓ/10a			散布		
		16 倍	3.2ℓ/10a			無人航空機 による散布		
たまねぎ	りん片腐敗病	500~800 倍	100~300ℓ /10a	発病前～ 発病初期	-	散布	-	
		8 倍	1.6ℓ/10a			無人航空機 による散布		
		10 倍	2.0ℓ/10a			散布		
		16 倍	3.2ℓ/10a			無人航空機 による散布		
だいこん	黒斑細菌病 白さび病	500 倍	100~300ℓ /10a	発病前～ 発病初期	-	散布	-	
		8 倍	1.6ℓ/10a			無人航空機 による散布		
		10 倍	2.0ℓ/10a			散布		
		16 倍	3.2ℓ/10a			無人航空機 による散布		
ごぼう	黒斑細菌病	500 倍	100~300ℓ /10a	発病前～ 発病初期	-	散布	-	
		8 倍	1.6ℓ/10a			無人航空機 による散布		
		10 倍	2.0ℓ/10a			散布		
		16 倍	3.2ℓ/10a			無人航空機 による散布		

作物名	適用病害虫名	希釗倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	銅を含む農薬の総使用回数
だいす	紫斑病 葉焼病	500~800 倍					
えだまめ	紫斑病		100~300ℓ /10a			散布	
いんげんまめ	かさ枯病	500 倍					
てんさい	褐斑病	400~800 倍		発病前~発病初期	-		
		8 倍	1.6ℓ/10a				
		10 倍	2.0ℓ/10a			無人航空機による散布	
		16 倍	3.2ℓ/10a				
茶	炭疽病 もち病 赤焼病 網もち病 新梢枯死症 褐色円星病	500 倍	200~400ℓ /10a	発病前~発病初期 但し摘採 14日前まで		散布	

【追加および変更する注意事項】

- ・病害の発生状況に応じ適期に使用すること。
- ・高温時での使用の際は薬害を生じるおそれがあるので必ず炭酸カルシウム水和剤を加用すること。
ただし、高温時以外の使用に際しても炭酸カルシウム水和剤を加用することが望ましい。また、収穫間際では果実に汚れを生じるので留意すること。
- ・稻に使用する場合は薬害を生じやすく、特に出穂期以降は生じやすいので、使用時期を厳守すること。
なお、散布後少なくとも7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- ・水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田及び養殖池等周辺での使用はさけること。
- ・散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。
- ・無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- ・使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

(3) 日農 フォース粒剤

登録第18313号

- 1) 作物名「非結球あぶらな科葉菜類（からしなを除く）」「からしな」の適用病害虫名「ネキリムシ類」に、使用量「4 kg/10a」、使用時期「収穫14日前まで」、使用方法「株元散布」を追加
- 2) 作物名「非結球あぶらな科葉菜類（からしなを除く）」「からしな」のテフルトリンを含む農薬の総使用回数を「2回以内（は種前までの処理は1回以内、は種後は1回以内）」に変更
- 3) 作物名「ごぼう」に適用病害虫名「コガネムシ類幼虫」を追加
- 4) 作物名「ごぼう」の適用病害虫名「ネキリムシ類」について、使用量「4~9 kg/10a」に変更し、使用時期「収穫30日前まで」、使用方法「株元散布」を追加し、使用時期「は種時」について使用方法を「播溝土壤混和又は全面土壤混和」に変更
- 5) 作物名「ごぼう」のテフルトリンを含む農薬の総使用回数を「2回以内（は種時の処理は1回以内、は種後は1回以内）」に変更
- 6) 作物名「アスパラガス」（適用病害虫名「ネキリムシ類」）を追加
- 7) 作物名「さといも」（適用病害虫名「コガネムシ類幼虫」）を追加
- 8) 作物名「やまのいも」に適用病害虫名「コガネムシ類幼虫」を追加
- 9) 作物名「やまのいも」の適用病害虫名「ネキリムシ類」について使用量「4 kg/10a」、使用時期「収穫30日前まで」、使用方法「株元散布」を追加
- 10) 作物名「やまのいも」のテフルトリンを含む農薬の総使用回数を「2回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は1回以内）」に変更
- 11) 作物名「未成熟とうもろこし」（適用病害虫名「ネキリムシ類」）を追加

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テフルトリンを含む農薬の総使用回数
非結球あぶらな科葉菜類（からしなを除く）	ネキリムシ類 キスジノミハムシ	4 kg/10a	は種前	1回	全面土壤混和	2回以内（は種前までの処理は1回以内、は種後は1回以内）
	ネキリムシ類	4 kg/10a	収穫14日前まで	1回	株元散布	
からしな	ネキリムシ類 キスジノミハムシ ハクサイダニ	4 kg/10a	は種前	1回	全面土壤混和	2回以内（は種前までの処理は1回以内、は種後は1回以内）
	ネキリムシ類	4 kg/10a	収穫14日前まで	1回	株元散布	
ごぼう	ネキリムシ類	4~9 kg/10a	は種時	1回	播溝土壤混和 又は全面土壤混和	2回以内（は種時の処理は1回以内、は種後は1回以内）
			収穫30日前まで	1回	株元散布	
	コガネムシ類幼虫		は種時	1回	作条土壤混和	
アスパラガス	ネキリムシ類	4 kg/10a	収穫前日まで	2回以内	株元散布	2回以内

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テフルトリンを含む農薬の総使用回数
さといも	コガネムシ類幼虫	6~9 kg/10a	植付時	1回	作条土壤混和	2回以内(植付時の処理は1回以内、植付後は1回以内)
		9 kg/10a	土寄せ時 但し、 収穫30日前まで	1回	株元土壤混和	
やまのいも	タネバエ	4 kg/10a	植付時	1回	植溝土壤混和	2回以内(植付時の処理は1回以内、植付後は1回以内)
	ネキリムシ類	6 kg/10a		1回	株元散布	
		4 kg/10a	収穫30日前まで		株元散布	
	コガネムシ類幼虫	9 kg/10a	収穫30日前まで	1回	全面土壤混和	2回以内(は種時の処理は1回以内、は種後は1回以内)
未成熟 とうもろこし	ネキリムシ類	4 kg/10a	は種時 収穫30日前まで		株元散布	

【追加する注意事項】

- ・本剤をだいこん、ごぼうの生育期に株元散布する場合、茎葉部がぬれないと付着した粒剤により局所的な枯れが生じることがあるため注意すること。

以上